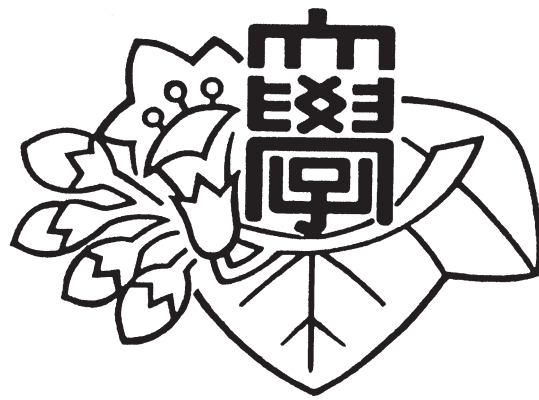


2018  
平成30年度

私費外国人留学生入試  
学生募集要項



平成29年11月

岩手大学

# 目 次

I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）	1
II 募集人員	12
III 出願	13
1 出願資格	
2 個別の出願資格審査	
3 出願手続	
IV 障がい等を有する入学志願者との事前相談	19
V 入学者選抜方法等	21
1 入学者選抜方法	
2 入試日程等	
3 受験上の注意	
4 不正行為	
VI 合格者の発表	23
VII 入学手続等の概要	24
1 入学手続締切期日及び場所	
2 入学関係書類	
3 大学納付金	
4 入学料及び授業料の免除等制度	
5 その他の経費	
6 在留資格手続きについて	
7 理工学部の特設プログラム履修生の選抜方法について	
VIII 個人情報の取り扱い	25
IX 入試過去問題活用宣言について	25
X 建物配置及び試験場案内図	26

## 同封してある出願書類等

- ① 入学志願票
- ② 写真票・受験票・入学検定料納入確認票
- ③ 払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・振替払込受付証明書（お客さま用）
- ④ 出願理由書
- ⑤ ラベル票

# I 岩手大学入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

## 1 岩手大学入学者受入の方針

岩手大学は、地域における知の府としての役割を果たす教育研究の場として、国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えて持続可能な共生社会の形成に寄与する人材の育成に取り組んでいます。

そのために、高等学校等における幅広い学びから育成される基礎的な知識と思考力に加えて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めています。

- 真理の探究や課題の解決に向けて主体的に取り組む姿勢
- 地域社会や国際社会に貢献する意欲とリーダーシップ
- 自然や人を思いやる心と倫理性
- 豊かな発想とチャレンジ精神、そしてコミュニケーション能力

## 2 学部別入学者受入の方針

### 人文社会科学部

#### 1 学部概要

人文社会科学部は、グローバル化の下で著しく変化する現代社会の諸問題を総合的観点から理解する能力と、人間・文化・社会・環境に関する専門的知識・能力を有し、地域社会及び国際社会に実践を通して貢献できる人材の養成を目指しています。

#### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通部分》 ※各課程分は後述

- (1) **知識・理解**  
人間・文化・社会・環境に関する基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人
- (2) **思考・判断**  
多様な考え方、異質なものの見方を理解しようとする柔軟な姿勢を持ち、物事を多角的に捉えることができる人
- (3) **関心・意欲**  
人間・文化・社会・環境のあり方とそれらをめぐる諸問題について強い探究心と広い観点から学ぶ意欲を持つ人
- (4) **技能・表現**  
自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人
- (5) **主体性・協働性**  
地域社会・国際社会の諸問題に実践的に取り組み、周囲の人々と協働しながら問題の解決を図ろうとする人

#### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・国語—読解力及び自分の考えを表現できる作文力
- ・英語—基本的な読解力・リスニング力・会話力・作文力
- ・地歴・公民—日本及び世界の地理・歴史・社会制度・社会思想などに関する基礎的知識と社会事象に対する関心
- ・数学、理科—論理的思考力、及び自然科学の基本的知識
- ・高校生活全般—他人と積極的に関わることのできるコミュニケーション力

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

#### 4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

- (1) **一般入試（前期日程）**  
大学入試センター試験では「知識・理解」「思考・判断」を評価し、個別試験では「知識・理解」「思考・判断」「技能・表現」を評価します。
- (2) **一般入試（後期日程）**  
大学入試センター試験では「知識・理解」「思考・判断」を評価し、個別試験では「思考・判断」「技能・表現」を評価します。
- (3) **アドミッション・オフィス入試**  
第1次選考の書類審査・面接では、高等学校時代までの校内・校外の諸活動、その他の社会活動から見える「主体性・協働性」を、課題文の要約及び出願理由書・実績記入書の内容から「思考・判断」「技能・表現」「関心・意欲」を評価します。第2次選考については、集団討論で「思考・判断」「技能・表現」「主体性・協働性」を、面接では「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書・実績記入書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。
- (4) **推薦入試**  
人間文化課程（小論文選択）と地域政策課程については、小論文で「思考・判断」「技能・表現」を、面接では「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。  
人間文化課程（スポーツ選択）については、小論文で「思考・判断」「技能・表現」を、面接では運動歴調査書の記載内容も含めて「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。人間文化課程（美術選択・書道選択）については、実技検査で当該分野の基本的な「技能・表現」を評価し、面接では「技能・表現」「関心・意欲」を評価するとともに、出願理由書・調査書で「知識・理解」「思考・判断」「関心・意欲」「主体性・協働性」を確認します。

## (5) 私費外国人留学生入試

日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・理解」「思考・判断」を、小論文では「思考・判断」「技能・表現」を評価します。そして、面接では出願理由書の内容の確認も併せて「思考・判断」「技能・表現」「関心・意欲」を評価します。

## 【人間文化課程】

### 1 課程概要 ※学部分は前述

人間文化課程は、多様な固有文化を育み、歴史的に継承されてきた地域のあり方と、そこに暮らす人間の行動を多角的に学修し、グローバル化を踏まえた地域づくりと住民の心身両面の健やかな生活に貢献できる人材、及び地域の来歴を踏まえ、文化を世界に向けて発信できる人材を養成します。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《課程分》 ※学部分は前述

#### (1) 知識・理解

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人

#### (2) 思考・判断

多様な特性をもつ人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸現象を多角的に捉えることができる人

#### (3) 関心・意欲

人間・言語・文化・芸術・スポーツをめぐる諸問題について世界及び地域双方の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

#### (4) 技能・表現

人間・言語・文化・芸術・スポーツについて学ぶための語学力と基礎的な技能を身につけているとともに、自分の考えを適切に表現し、それを積極的に発信できる人

#### (5) 主体性・協働性

人間・言語・文化・芸術・スポーツに関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働しながら地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

## 【地域政策課程】

### 1 課程概要 ※学部分は前述

地域政策課程は、東日本大震災の復興から、未来のモデルとなる持続可能な社会づくりへの道筋を見据え、地域創生・地域マネジメントへの課題に、法学・経済学・環境学それぞれの分野の学修を軸としながら、総合的視点から取り組むことのできる人材を養成します。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《課程分》 ※学部分は前述

#### (1) 知識・理解

社会・環境について学ぶための基礎的知識を有し、物事を論理的に考えることができる人

#### (2) 思考・判断

複雑に絡み合う社会・環境をめぐる諸現象を多角的に捉えることができる人

#### (3) 関心・意欲

社会・環境をめぐる諸問題について、法・経済・環境の広い観点から学ぶことに高い関心を持つ人

#### (4) 技能・表現

社会・環境に関する自分の考えをまとめ、積極的に発信しようとする人

#### (5) 主体性・協働性

法学・経済学・環境学に関する学修を実践に活かし、周囲の人々と協働して地域社会・国際社会の諸問題を解決しようとする強い熱意を持つ人

## <別表>検査方法と評価要素

### (1) 入学者選抜方法ごとの選抜内容

入学者選抜方法	該当選抜区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	現代の社会・文化に関し広く関心が持たれている事柄、及び学問・科学・教育・教養など広い意味での「学ぶこと」「考えること」に関する事柄をテーマとして、「思考・判断」「技能・表現」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	推薦（人間文化課程 小論文選択・スポーツ選択、 地域政策課程）	提示した問題・課題を通して、「思考・判断」「技能・表現」に関する基礎的な能力を判定する。
小論文	私費外国人留学生	提示した問題・課題を通して、日本語に関する「技能・表現」、及び「思考・判断」に関する基礎的な能力を判定する。
集団討論	アドミッション・オフィス 2次	人間文化課程では、人間と文化に関する資料（映像・文献等）に基づいて、自分の意見や感想をまとめた後、ディスカッションを行う。地域政策課程では、提示された社会科学・環境学に関するテーマについてディスカッションを行い、その後にディスカッションに関するまとめのレポートを作成する。両課程とも、これらを通じて「思考・判断」「技能・表現」「主体性、協働性」について判定する。
書類審査・面接	アドミッション・オフィス 1次	書類審査と、面接において課題文の要約の発表、出願理由書・実績記入書についての質疑、及び1分間の自己PRを行い、「思考・判断」「技能・表現」「関心・意欲」「主体性、協働性」について判定する。

面接	アドミッション・オフィス 2次	人間文化課程では、出願理由書及び実績記入書の内容に関する質疑を行う。地域政策課程はそのほかに集団討論に関するレポート発表も行う。両課程とも、これらを通じて「技能・表現」「関心・意欲」について判定する。
面接	推薦	推薦書・出願理由書・調査書・運動歴調査書（人間文化課程スポーツ選択のみ）に関する質疑を行うことによって「技能・表現」「関心・意欲」について判定する。
面接	私費外国人留学生	出願理由書に関する質疑を行うことによって、「技能・表現」「関心・意欲」について判定する。
実技検査	推薦（人間文化課程 美術選択・書道選択）	美術選択はデッサン、書道選択は臨書の実技検査を行うことによって、当該分野の「技能・表現」に関する基礎的な能力を判定する。
運動歴調査書	推薦（人間文化課程 スポーツ選択）	高等学校までの校内・校外での運動歴を記入する。これによってスポーツの「技能・表現」に関する基本的な能力を判定する。
出願理由書	アドミッション・オフィス	本学部を志望する理由を、これまでの勉学や様々な活動を通じて育まれた問題意識、本学部の教育内容、大学卒業後の希望進路などを踏まえて記入する。「思考・判断」「関心・意欲」を判定する際の1つの資料にする。
	推薦	
	私費外国人留学生	
調査書	アドミッション・オフィス	高等学校での科目の履修状況に加えて、教科外活動の状況やボランティア活動・プロジェクト活動など校外での活動、各種の資格・免許取得なども評価対象とする。「知識・理解」「主体性・協働性」を判定する際の1つの資料とする。
	推薦	

## (2) 入学者選抜方法ごとの重点評価項目

入学者選抜方法	該当選抜区分	知識・理解	思考・判断	技能・表現	関心・意欲	主体性・協働性
(センター試験)	一般（前期）	○	○			
	一般（後期）					
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○	○		
小論文	一般（後期）					
	推薦（人間文化課程小論文 選択・スポーツ選択、 地域政策課程）		○	○		
	私費外国人留学生					
書類審査・面接	アドミッション・オフィス 1次		○	○	○	○
面接	アドミッション・オフィス 2次			○	○	
	推薦					
	私費外国人留学生					
集団討論	アドミッション・オフィス 2次		○	○		○
実技検査	推薦（人間文化課程 美術選択・書道選択）			○		
運動歴調査書	推薦（人間文化課程 スポーツ選択）			○		
出願理由書	アドミッション・オフィス					
	推薦		○		○	
	私費外国人留学生					
調査書	アドミッション・オフィス 推薦	○				○
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○			

※ 一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）においては調査書は総合判定時の参考とする。

## 教育学部（学校教育教員養成課程）

### 1 学部概要 ※各コース部分は後述

教育学部は、教員養成の専門学部として、教育に関する理論的・実践的な力量、教育内容とその背景をなす諸学問の理解及び豊かな人間性・社会性を備え、地域の要請に応えつつ、教員としての意欲と高い使命感をもって教育に取り組むことができる教員の養成を目的としています。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学部共通》

- (1) 知識・理解・技能
  - ・ 幅広い教養教育と教員になるための専門教育に主体的に取り組む基礎となる知識・技能を有する人
- (2) 思考・判断・表現
  - ・ 知識を活用し論理的に思考・判断する資質・能力を有する人
  - ・ 多面的な考え方や協調性を尊重するとともに、自分の考えを表現できるコミュニケーション能力を有する人
- (3) 関心・意欲・態度
  - ・ 学校教育に関わる種々の問題に関心を持ち、教員として社会に貢献する強い意欲を有する人
  - ・ 豊かな人間性と子どもに対する深い愛情を有する人
  - ・ 生涯学び続ける態度を有する人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通部分》 ※各コースの特徴は後述

教育学部では、できるだけ幅広い教科・科目について基礎的な内容を修得していることが望まれます。さらに得意な分野等については、より学習を深め、科目全般についての学習内容を理解し確かな知識・技能を修得していることが望まれます。また学力の基本となる読解力と文章構成力を身につけていることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

### 4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

#### (1) 一般入試（前期日程）

大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。小学校教育コース・中学校教育コース（音楽・美術・保健体育以外）・理数教育コース・特別支援教育コースの個別試験ではこれらに加え「表現」を、中学校教育コース（音楽・美術・保健体育）の個別試験ではこれらに加え「表現」「技能」「関心・意欲・態度」を評価します。

#### (2) 一般入試（後期日程）

大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。小学校教育コース・特別支援教育コースの個別試験ではこれらに加え「表現」「関心・意欲・態度」を評価します。

#### (3) 推薦入試Ⅰ

小学校教育コース・中学校教育コース（英語）・理数教育コース・特別支援教育コースの小論文では「知識・理解」「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を評価します。中学校教育コース（美術）の実技検査では「技能」を中心に、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を評価します。小学校教育コース・中学校教育コース（美術）・理数教育コース・特別支援教育コースの面接では「関心・意欲・態度」を中心に、中学校教育コース（英語）の面接では「関心・意欲・態度」「技能（英語の運用能力）」を中心にそれぞれ評価します。出願理由書は「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を中心に、調査書は「知識・理解」を中心に、面接で判定を行う際の基礎資料として活用します。

#### (4) 私費外国人留学生入試

日本留学試験では日本語に関する基礎的能力を含めて「知識・理解」「技能」を評価します。面接では出願理由書の内容の確認も併せて「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を、中学校教育コース（音楽・美術）ではこれらに加え「技能」を評価します。

## 【小学校教育コース】

### 1 コース概要 ※学部分は前述

小学校教育コースは、人間の成長過程で重要な位置を占める小学校段階の教育を担う教員の養成を目的としています。本コースでは、小学校教育に関わる教科指導と生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力に加え、小学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》 ※学部分は前述

小学校教育コースにおいては、幅広い教科についての基礎学力が必要とされ、広い学びと深い学びを両立できる意欲と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

## 【中学校教育コース】

### 1 コース概要 ※学部分は前述

中学校教育コースは、特定の教科に関する専門性を備え、生徒の発達に応じて適切に指導できる中学校教員の養成を目的としています。本コースでは、教科に関する専門的な学力とともに、生活指導に関する専門的知識・技能および実践的指導力を有し、中学校教育への使命感と豊かな人間性を持った教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》 ※学部分は前述

中学校教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に専門とする教科についての深い関心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【理数教育コース】

1 コース概要 ※学部分は前述

理数教育コースは、子どもたちに理科・数学に関する確かな学力や学ぶことの大切さを伝えるとともに、子どもたちの科学的な思考力や創造性を育成する理数教育の担い手として、小学校における理科・算数の教科リーダーとなる教員、また中学校における高い専門性を備えた理科・数学の教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》 ※学部分は前述

理数教育コースにおいては、できるだけ幅広い教科についての基礎学力とともに特に自然科学・数学分野における旺盛な探究心と学力を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

【特別支援教育コース】

1 コース概要 ※学部分は前述

特別支援教育コースは、特別支援学校、特別支援学級、小学校・中学校等の通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする子どもに対して、主体的取り組みを支援する観点から教育的ニーズを把握し、適確に指導・支援できる教員を養成します。

2 入学者に求める資質（求める学生像） 《コース分》 ※学部共通項を参照

3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《コース分》 ※学部分は前述

特別支援教育コースにおいては、特別支援教育の基礎として前述の「小学校教育コース」または「中学校教育コース」に準じた能力を有していることが望まれます。加えて、特別支援教育への熱意、多様な子ども一人ひとりに寄り添うことができる感性を有していることが望まれます。

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

<別表>検査方法と評価要素のマトリックス表

(1) 入学者選抜方法ごとの選抜内容

入学者選抜方法	該当入試区分	選抜内容
小論文	一般（後期）	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。
小論文	推薦Ⅰ	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。
面接	一般（前期）・美術	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。
面接	推薦Ⅰ	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。中学校教育コース（英語）ではこれらに加えて「技能（英語の運用能力）」を評価する。
面接	私費外国人留学生	学校教育に関連する基礎的な「知識・理解」を踏まえて、教職を目指す者としてふさわしい「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。中学校教育コース（音楽・美術）ではこれらに加えて「技能（実技能力）」を評価する。
実技検査	一般（前期） 音楽・美術・保健体育	教職を目指す者としてふさわしい「技能」を中心に、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。
実技検査	推薦Ⅰ・美術	教職を目指す者としてふさわしい「技能」を中心に、「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を有しているかを評価する。
運動歴調査書	一般（前期）・保健体育	競技成績等の運動歴を通じて保健体育科教師としてふさわしい技能（身体能力）を保有しているかを評価する。
出願理由書	推薦Ⅰ 私費外国人留学生	「思考・判断・表現」「関心・意欲・態度」を中心に、面接で判定を行う際の基礎資料として活用する。
調査書	推薦Ⅰ	「知識・理解」を中心に、面接で判定を行う際の基礎資料として活用する。

## (2) 入学者選抜方法ごとの重点評価項目

入学者選抜方法	該当入試区分	知識・理解	技能	思考・判断・表現	関心・意欲・態度
(センター試験)	一般(前期)	○		○	
	一般(後期)	○		○	
				但し、表現を除く	
個別学力検査 (教科)	一般(前期)	○		○	
	一般(後期)	○		○	
小論文	一般(後期)	○		○	○
	推薦Ⅰ	○		○	○
面接	一般(前期)・美術	○		○	○
	推薦Ⅰ	○	○(1)	○	○
	私費外国人留学生		○(2)	○	○
実技検査	一般(前期)・音楽		○		
	美術		○		
	保健体育		○		
	推薦Ⅰ・美術		○		
運動歴調査書	一般(前期)・保健体育		○		
出願理由書	推薦Ⅰ				
	私費外国人留学生			○	○
調査書	推薦Ⅰ	○			
日本留学試験	私費外国人留学生	○	○		

(1) 中学校教育コース(英語)では「技能(英語の運用能力)」を評価する。

(2) 中学校教育コース(音楽・美術)では「技能(実技能力)」を評価する。

※ 一般入試(前期日程)、一般入試(後期日程)においては調査書は総合判定時の参考とする。

## 理工学部

### 1 学部概要 ※各学科・コース・プログラム分は後述

理工学部は、理工学分野又は工学分野の基礎学力と科学技術分野に関する課題を解決するために必要な専門的能力を有し、グローバルな視点に立ちながら地域社会づくりやイノベーション創出に貢献できる技術者と研究者、次世代の優秀な理系人材を育成する教育者の養成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

### 2 入学者に求める資質(求める学生像)《学部共通部分》 ※各学科・コース・プログラム分は後述

#### (1) 関心・意欲

- ・ 科学技術の発展に必要とされる理工学や工学分野に強い関心と学ぶ意欲があり、更には地域や社会における課題への理解力と地域貢献への意欲を持ちつつ明確な目標を持って行動できる人

#### (2) 知識・技能

- ・ 高等学校卒業レベルの幅広い基礎学力を持つとともに、理工学および工学分野の学修に関連する科目に関する基礎的な知識をもち、その知識を展開する技能を持つ人

#### (3) 思考力・判断力

- ・ 理工学分野又は工学分野における課題を発見・探求し、解決したいという積極性を持ち、広い視野で論理的に思考を深めて適切に判断できる人

#### (4) 表現力・コミュニケーション能力

- ・ 周囲とコミュニケーションが円滑にとれ、必要な相手に伝えたいことを表現できる人

#### (5) 主体性・創造性・協働性

- ・ 多様な経験をもとに協働して学び、主体的に創造性豊かな発想ができる人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース・プログラム毎に後述

### 4 入学者選抜の基本方針 ※コース・プログラム毎に後述

## 【化学・生命理工学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

化学・生命理工学科では、化学及び生命に関連する科学技術分野の理工学的な諸課題を解決するための理学的な基礎学力と工学的な応用学力を統合した総合学力を有し、国際的視点に立ちながら地域社会づくりに貢献できる研究者や技術者、教育者の育成を行います。また、持続可能な社会の発展のために、化学及び生命理工学分野の基礎から応用までの広範な研究を推進します。

### 2 入学者に求める資質(求める学生像)《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ 化学及び生命理工学の学修に必要な基礎学力
- ・ 化学・生命分野における豊かな発想力と論理的な思考力
- ・ 化学・生命分野における課題を探究し、解決したいという積極性



### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

### 4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※ 各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

[http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission\\_policy.html](http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission_policy.html)

<化学コース>

<生命コース>

## 【物理・材料理工学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

物理・材料理工学科では、数理科学、物理科学、物質科学、材料工学の各分野を担える広範な専門基礎学力と、関連する諸課題を探究し解決できる能力を有し、地域社会と国際社会の持続発展に貢献できる人間性豊かな技術者、研究者、教育者の育成を行います。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ 高校教育の中で、数学、物理、化学、英語などを十分に学習し、本学科の学修に必要な基礎学力
- ・ 数理科学、物理科学、物質科学、材料工学に強い関心を持ち、環境との調和に留意しつつ、これらの発展に大きな貢献をしたいという意欲
- ・ 強い勉学意欲と、新しい課題に挑戦する積極性

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

### 4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※ 各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

[http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission\\_policy.html](http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission_policy.html)

<数理・物理コース>

<マテリアルコース>

## 【システム創成工学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述、各コース分は後述

システム創成工学科では、電気電子通信、知能・メディア情報、機械科学、社会基盤・環境の各科学技術分野に関する広範な基礎学力と工学分野における課題を探究し、解決するために必要な専門的能力を有し、地域社会と国際社会の持続的発展に貢献できる技術者や研究者の育成を行います。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像）《学科共通分》 ※学部分は前述、各コース分は後述

- ・ システム創成工学を学ぶに相応しい数学、物理、化学、英語などの基礎学力
- ・ 電気電子通信、知能・メディア情報、機械科学、社会基盤・環境の各分野に強い関心を持ち、豊かな発想力と論理的な思考力を有し、自ら積極的に勉学しようとする意欲
- ・ システム創成工学分野における課題を積極的に解決しようとする探究心

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 ※コース毎に後述

### 4 入学者選抜の基本方針 ※コース毎に後述

※ 各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

[http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission\\_policy.html](http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission_policy.html)

<電気電子通信コース>

<知能・メディア情報コース>

<機械科学コース>

<社会基盤・環境コース>

## 【特別プログラム（3プログラム）】

理工学部には、次の特別プログラムがあります。特別プログラム履修者は、所属する学科及びコースが求める能力・資質に加え、それぞれの特別プログラムが求める能力・資質を備えた入学者を求めています。

※ 各コース・プログラム単位の内容については、下記のURLを参照してください。

[http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission\\_policy.html](http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/admission_policy.html)

<先端理工学特別プログラム>

〔全学科対象〕

<地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉>

〔システム創成工学科の電気電子通信コース、知能・メディア情報コース及び機械科学コースが対象〕

<地域創生特別プログラム〈防災・まちづくり系〉>

〔システム創成工学科の社会基盤・環境コースが対象〕

(各コース共通)

＜別表＞検査方法と評価要素のマトリックス表＜各コース・各プログラムで共通＞

(1) 入学者選抜方法ごとの選抜内容

入学者選抜方法	該当入試区分	選抜内容
個人面接	AOⅡ 編入学試験 私費外国人留学生入試・ 前期日程試験	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由について面接を行い、提出書類に関する確認を行う場合もあります。理工系科学者・技術者として将来社会に貢献する意欲等を評価します。
個人面接 (口頭試問を含む)	推薦Ⅰ AOⅠ	複数の面接担当者による個人面接を行います。志望理由や当該専門分野に関する一般的知識について面接を行います。高校の基礎学力を確認するために、口頭試問を行います。
プレゼン テーション	AOⅠ AOⅡ	各プログラムにおいて出された課題に対する関心・意欲、知識・技能、思考力・判断力、表現力・コミュニケーション能力、主体性・創造性・協働性を総合的に評価します。
出願理由書・ 志望理由書	推薦Ⅰ AOⅠ	志望するコースやプログラムへの出願・志望理由について1,000または800字程度を自筆で作成してください。志望理由が、各コース・各プログラムの入学者受入の方針に合致しているかを総合的に評価します。
推薦書・ 自己推薦書	推薦Ⅰ AOⅠ AOⅡ	推薦書については、文字数は任意です。自己推薦書については、志望するプログラムにより400または2,000字程度を自筆で作成してください。各プログラムで学修する適性と意欲について総合的に評価します。
調査書	推薦Ⅰ AOⅠ AOⅡ	高等学校での学力および生活状況（特別活動・指導上の参考となる諸事項等）について総合的に評価します。各プログラムにおいては、資格・検定試験の成績等のほか、プロジェクト活動やボランティア活動の実績、海外留学等の多様な経験がある場合には参考資料とすることもありますので詳細に記載してください。

(2) 入学者選抜方法ごとの重点評価項目 [入学者選抜方法と求める学生像の関係性]

入学者選抜方法	該当入試区分	関心・意欲	知識・技能	思考力・ 判断力	表現力・コミュ ニケーション 能力	主体性・ 創造性・ 協働性
(センター試験)	一般(前期) 一般(後期) AOⅡ		○	○		
個別学力検査 <教科>	一般(前期) 一般(後期) 編入学試験		○	○		
個人面接	AOⅡ 編入学試験 私費外国人 留学生入試	○			○	
個人面接 (口頭試問を含む)	推薦Ⅰ AOⅠ	○	○	○	○	○
プレゼン テーション	AOⅠ AOⅡ	○	○	○	○	○
出願/志望理由書・ (自己)推薦書	推薦Ⅰ AOⅡ AOⅠ	○			○	○
調査書	推薦Ⅰ AOⅠ AOⅡ	○	○			○

※ 一般入試(前期日程)、一般入試(後期日程)においては調査書は総合判定時の参考とする。

## 農学部

### 1 学部概要 ※各学科分は後述

農学部は、幅広く深い教養と豊かな人間性を基礎として、農学の重要分野である植物生命、応用生物化学、森林科学、食料生産環境、動物科学、獣医学の専門分野における、基礎的・応用的な専門知識と技能を修得することにより、地域および国際社会の食料・生命・環境の諸問題の解決に貢献できる人材の養成を目的としています。

### 2 入学者に求める資質(求める学生像) 《学部共通部分》 ※各学科分は後述

#### (1) 知識・理解

- ・ 農学分野の自然科学、生命科学、社会科学等を学ぶに相応しい基礎学力を有する人

- (2) **思考・判断**
  - ・ 農学分野に関するグローバルな問題を地域の視点から論理的にとらえる思考力を有する人
- (3) **関心・意欲・態度**
  - ・ 生命の尊さを知り、食料生産技術や生物資源の開発と利用について専門的知識を修得する意欲のある人
- (4) **技能・表現**
  - ・ 農学分野に関する論理的思考力を有し、持続可能な社会の実現に向けて行動できる人

### 3 入学前に修得しておくことを期待する内容 《学部共通》

- ・ 理科、数学—内容の理解と応用力
- ・ 英語、国語—基礎的な読解力、表現力、文章力
- ・ 地歴・公民—基礎的内容の理解

※ 具体的な履修要件や入試科目は、入試区分や学部等毎で個別に示しますので、各募集要項で確認してください。

### 4 入学者選抜の基本方針 《学部共通》

- (1) **一般入試（前期日程）**  
大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。個別学力検査ではこれらに加え「技能・表現」を評価します。
- (2) **一般入試（後期日程）**  
大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。個別学力検査では「思考・判断」「技能・表現」を評価します。
- (3) **推薦入試Ⅰ**  
小論文試験で「思考・判断」「技能・表現」を評価します。面接および出願理由書では「関心・意欲・態度」を、調査書では「知識・理解」を中心に総合的に評価します。
- (4) **推薦入試Ⅱ**  
大学入試センター試験で「知識・理解」「思考・判断」を評価します。面接および出願理由書では「思考・判断」「関心・意欲・態度」「技能・表現」を評価し、調査書では「知識・理解」を中心に総合的に評価します。
- (5) **私費外国人留学生入試**  
日本留学試験で、日本語力を含めて「知識・理解」「思考・判断」を評価します。面接および出願理由書では「関心・意欲・態度」を評価します。

## 【植物生命科学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述

植物生命科学科では、植物および昆虫の生命現象と農学に関連する生命の機能を解明するための基礎知識を生物学や化学的な観点で学習します。さらに、農産物や農業生物を有益な資源として生かすために生命科学技術ならびに論理を学びます。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は前述

- (1) **知識・理解・思考・判断**
  - ・ 生命機能の解明や生命資源利用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 生命科学や生命資源の可能性を数量的・論理的に推理・解析できる分析力を有する人
- (2) **関心・意欲・態度・技能・表現**
  - ・ 食料の安定供給と環境負荷低減を両立させる戦略・論理・技術を学ぶ意欲のある人
  - ・ 新たな生命現象や未利用資源に関する成果を社会へ還元する行動力のある人

## 【応用生物化学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述

応用生物化学科では、生命の現象、食品素材の特性、生物圏での物質の動きを理解するための基礎知識を化学的な視点から学習するとともに、それらに関連する実験技術を修得します。これらをもとに、微生物・動物・植物資源の有効利用や生物機能の応用についても学びます。

### 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は前述

- (1) **知識・理解・思考・判断**
  - ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 食品素材特性の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 生物圏での物質の動きの解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
- (2) **関心・意欲・態度・技能・表現**
  - ・ 微生物や酵素の高度利用について専門的知識を修得する意欲のある人
  - ・ 健康と食品機能について専門的知識を修得する意欲のある人
  - ・ 食料生産と生物圏の化学的な解明について専門的知識を修得する意欲のある人

## 【森林科学科】

### 1 学科概要 ※学部分は前述

森林科学科では、東北地域の恵まれた自然環境を背景として、森林の持つ多様な環境保全機能や樹木資源の生産と利用、自然生態系の保全・管理、防災を含めた幅広い分野について総合的に学びます。これらをもとに、自然との共生関係を築きながら発展できる地域社会の実現に貢献する人材を育成します。

## 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は前述

- (1) 知識・理解・思考・判断
  - ・ 森林科学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 多様な機能を活かした森づくりと利用・保全に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・技能・表現
  - ・ 森林の多面的機能を最大限に発揮できる森づくりに必要な知識と技術について学ぶ意欲のある人
  - ・ 森林里山地域の自然生態系に配慮した適切な資源の利用と管理について学ぶ意欲のある人
  - ・ 再生可能資源である木質バイオマスの総合的かつ持続的利用法について学ぶ意欲のある人

### 【食料生産環境学科】

#### 1 学科概要 ※学部分は前述

食料生産環境学科では、農業の生産基盤の整備や生活環境の向上、農村の生態系、文化・景観の保全や災害に強い地域づくり、食を取り巻く環境の急速なグローバル化および農業就業人口の減少や高齢化に対応する食料生産技術の高度化、農産物の保存・流通、6次産業化、農業経営の高度化、さらに持続可能な水産資源の管理や漁獲・増養殖、加工技術の改良と開発、グローバルな視野に立った新たな流通体系などの科学と技術を学びます。

## 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は前述

### <農村地域デザイン学コース・食産業システム学コース>

- (1) 知識・理解・思考・判断
  - ・ 農業生産基盤の整備と農村環境の保全、地域振興に関して学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 食料生産技術、農産物の保存・流通、6次産業化、および農業経営に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・技能・表現
  - ・ 農村地域の持続的発展のために、地域資源の適切な利用・管理と農村環境の保全、および地域振興について多面的に学ぶ意欲のある人
  - ・ 食料生産環境の科学的な解明や、農作業の快適化と効率化、農産物の保全と流通システムの構築、農業廃棄物の有効利用に関する理論と技術を学ぶ意欲のある人
  - ・ グローバル化に対応した農業経営の高度化、グリーンツーリズムや観光を含めた農業の6次産業化や農業情報の利活用について学ぶ意欲のある人

### <水産システム学コース>

- (1) 知識・理解・思考・判断
  - ・ 水産資源の管理・生産、その利活用、流通・販売に関する自然科学・社会科学の広い学問領域を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の問題解決に必要な基礎的な思考・判断力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・技能・表現
  - ・ 三陸地域の社会と水産業に関心を持ち、東日本大震災からの復興と水産業の課題に取り組む意欲のある人
  - ・ 日本と世界の水産業の持続的発展の諸課題に関心を持ち、問題解決に取り組む意欲のある人
  - ・ 水産業に関わる専門家としての高い倫理観を持ち、真摯に責任をもって持続的水産業構築の諸課題について積極的に携わる態度を備えた人

### 【動物科学科】

#### 1 学科概要 ※学部分は前述

動物科学科では、産業動物、実験動物、野生動物、展示動物などの様々な動物種および飼料作物などを対象に、広く生命科学の基礎知識を学習するとともに、関連した実験技術を修得します。これらをもとに、人と動物が共生する地域社会の創造や動物関連産業の発展、生命科学の発展に貢献できる国際的視野を持った人材を育成します。

## 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は前述

- (1) 知識・理解・思考・判断
  - ・ 生命現象の解明と応用を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 動物生産および動物科学に関する知識と技術の修得に相応しい基礎学力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・技能・表現
  - ・ 動物科学への強い関心を有し、課題の探求と解決に取り組む意欲のある人
  - ・ 動物に関連した産業の諸問題の探求と解決に取り組む意欲のある人
  - ・ グローバルな視点から、動物に関連した産業の持続的発展に積極的な意欲を有する人

### 【共同獣医学科】

#### 1 学科概要 ※学部分は前述

共同獣医学科は、獣医師は人類と動物の健康と福祉に貢献するという理念に基づき、高度獣医療の提供、人類の健康と食の安全、生命科学研究の発展に活躍できる国際的な視野を持つ人材を育成します。

## 2 入学者に求める資質（求める学生像） 《学科分》 ※学部分は前述

- (1) 知識・理解・思考・判断
- ・ 獣医学を学ぶに相応しい基礎学力を有する人
  - ・ 動物の生命現象と病態に関する課題を探求し、グローバルな視野から論理的に解決する思考力を有する人
- (2) 関心・意欲・態度・技能・表現
- ・ 動物の生命現象と病態に関心を持ち、それを継続して探求しようとする意欲のある人
  - ・ 自己を啓発し実行力に優れ、獣医学の発展ならびに社会に貢献しようとする意欲のある人
  - ・ 獣医師として、国際的な交流・協力を推進し、世界に学び世界に貢献しようとする意欲のある人

### <別表>検査方法と評価要素

#### (1) 入学者選抜方法ごとの選抜内容

入学者選抜方法	該当入試区分	選抜内容
小論文	推薦Ⅰ 一般（後期）	文章を客観的に読解把握する力や、内容に対する自らの考え方を述べる力を検査します。
個人面接	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 私費外国人	複数の面接担当者による個人面接を行います。加えて推薦Ⅱでは、当日提示される課題に対して自らの考えを説明する面接を行います。
出願理由書	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ 私費外国人	入学を希望する理由を本人が記入します。
調査書*	推薦Ⅰ 推薦Ⅱ	学習の記録を中心に総合的に評価します。

#### (2) 入学者選抜方法ごとの重点評価項目

入学者選抜方法	該当入試区分	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現
(センター試験)	一般（前期）				
	一般（後期）	○	○		
	推薦Ⅱ				
個別学力検査 <教科>	一般（前期）	○	○		○
	一般（後期）				
小論文	一般（後期）		○		○
	推薦Ⅰ				
個人面接	推薦Ⅰ 私費外国人			○	
	推薦Ⅱ		○	○	○
出願理由書	推薦Ⅰ			○	
	推薦Ⅱ				
	私費外国人				
調査書*	推薦Ⅰ	○		○	
	推薦Ⅱ				
(日本留学試験)	私費外国人	○	○		

\* 一般入試（前期日程）、一般入試（後期日程）においては、調査書は総合判定時の参考とする。

## Ⅱ 募集人員

学 部	学 科 ・ 課 程 等		募 集 人 員	
人文社会科学部	人 間 文 化 課 程		若干名	
	地 域 政 策 課 程		若干名	
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 コ ー ス	若干名	
		中 学 校 教 育 コ ー ス	国 語 サ ブ コ ー ス	若干名
			社 会 サ ブ コ ー ス	若干名
			技 術 サ ブ コ ー ス	若干名
			家 庭 サ ブ コ ー ス	若干名
			英 語 サ ブ コ ー ス	若干名
			音 楽 サ ブ コ ー ス	若干名
			美 術 サ ブ コ ー ス	若干名
			保 健 体 育 サ ブ コ ー ス	若干名
		理 数 教 育 コ ー ス	数 学 サ ブ コ ー ス	若干名
	理 科 サ ブ コ ー ス		若干名	
	特 別 支 援 教 育 コ ー ス	若干名		
理 工 学 部	化 学 ・ 生 命 理 工 学 科	化 学 コ ー ス	若干名	
		生 命 コ ー ス	若干名	
	物 理 ・ 材 料 理 工 学 科	数 理 ・ 物 理 コ ー ス	若干名	
		マ テ リ ア ル コ ー ス	若干名	
	シ ス テ ム 創 成 工 学 科	電 気 電 子 通 信 コ ー ス	若干名	
		知 能 ・ メ デ ィ ア 情 報 コ ー ス	若干名	
		機 械 科 学 コ ー ス	若干名	
社 会 基 盤 ・ 環 境 コ ー ス		若干名		
農 学 部	植 物 生 命 科 学 科		若干名	
	応 用 生 物 化 学 科		若干名	
	森 林 科 学 科		若干名	
	食 料 生 産 環 境 学 科	農 村 地 域 デ ザ イン 学 コ ー ス	若干名	
		食 産 業 シ ス テ ム 学 コ ー ス		
		水 産 シ ス テ ム 学 コ ー ス		
	動 物 科 学 科		若干名	
共 同 獣 医 学 科		若干名		

### Ⅲ 出 願

大学入試センター試験を免除し、本学が実施する個別学力検査等（小論文、面接）、日本留学試験及び出願書類を総合して判定する私費外国人留学生入試を行います。

なお、理工学部のみ、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等（小論文、面接）を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定する「国外出願（渡日前入学許可）」の方法による私費外国人留学生入試も行います。

#### 1 出願資格

下記の表に該当する者のうち、次の(1)、(2)、(3)の全てに該当する者

学部 出願区分	人文社会科学部	教育学部	理工学部	農学部
前期日程	日本国内在住者 及び 日本国外在住者	日本国内在住者 及び 日本国外在住者	日本国内在住者	日本国内在住者 及び 日本国外在住者
渡日前入学許可	——	——	日本国外在住者	——

(1) 日本国籍を有しないで、出入国管理及び難民認定法において大学の入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

(2) 次のアからキのいずれかに該当する者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

ウ ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

エ フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

オ グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

カ 国際的な評価団体（WASC, ECIS, ACSI）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者及び修了見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

キ 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者

(3) 志願する学部の指定する日本留学試験を受験した者

ただし、教育学部、理工学部及び農学部共同獣医学科を志願する者は、次の要件も満たしていること。

ア 教育学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計が280点以上、かつ、日本語記述の得点が35点以上であること。

イ 理工学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計が、渡日前入学許可では280点以上、前期日程では260点以上であること。

ウ 農学部共同獣医学科志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）、数学及び理科の合計が640点以上（そのうち日本語の合計が300点以上）、かつ日本語記述の得点が35点以上であること。

注1) (2)のキの資格で出願しようとする者は、次ページの「2 個別の出願資格審査」の要領に従って申請してください。

注2) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校（中等教育学校の後期課程を含みます。）を卒業した者又は同等以上の資格を得た者及び日本の永住許可を得ている者は、一般入試の入学志願者と同じ扱いになり、この入試には出願できません。

## 2 個別の出願資格審査

本学に「1 出願資格」(2)のキの資格で出願しようとする者については、次のとおり出願資格審査を行います。出願資格審査は該当者のみ必要となります。出願に先立って、自身の該当する出願資格を必ず確認してください。

### (1) 出願資格審査の対象者

- ① 高等学校に相当する、外国人を対象に教育を行うことを目的とした教育施設を卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者
- ② 各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

### (2) 申請期間及び申請方法

出願資格の認定を受けようとする者は、下記期日までに申請書類を取りそろえて申請してください。

渡日前入学許可（理工学部） 平成29年11月30日（木）

前期日程 平成30年1月4日（木）

なお、日本国内から郵送する場合は、必ず書留郵便で、日本国外から郵送する場合は、必ず国際スピード郵便（EMS）で郵送してください。

また、封筒の表に「大学出願資格認定申請書在中」と朱書きしてください。

### (3) 申請書類等

#### ① 「(1) 出願資格審査の対象者」の①に該当する者

- ア 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- イ 当該教育施設の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書（必ず原本を提出してください。）
- ウ 当該教育施設の成績証明書又は調査書（必ず原本を提出してください。）
- エ 当該教育施設の学則（規則）等
- オ 当該教育施設のカリキュラム（修業年限、授業時間数、授業科目、必要単位数等が明記されたもの）
- カ 返信用封筒
  - ・ 日本国内からの場合：長形3号封筒に申請者の住所・氏名・郵便番号を明記して792円（速達書留料金）の切手を貼ってください。
  - ・ 日本国外からの場合：17ページ（4）出願書類等⑧国際返信切手券の箇所を参照し、該当する枚数の国際返信切手券を同封してください。

#### ② 「(1) 出願資格審査の対象者」の②に該当する者

- ア 出願資格認定申請書（所定の用紙）
- イ 各種の学校等での学習歴及び社会での実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類
- ウ 返信用封筒
  - ・ 日本国内からの場合：長形3号封筒に申請者の住所・氏名・郵便番号を明記して792円（速達書留料金）の切手を貼ってください。
  - ・ 日本国外からの場合：17ページ（4）出願書類等⑧国際返信切手券の箇所を参照し、該当する枚数の国際返信切手券を同封してください。

※ 「出願資格認定申請書用紙」は、岩手大学学務部入試課（次ページ(9)参照）まで請求するか、本学ホームページ（[http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/nyushi\\_jyoho/gakubu\\_nyushi\\_syutuganshinsa.html](http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/nyushi_jyoho/gakubu_nyushi_syutuganshinsa.html)）からダウンロードしてください。

※ 必要に応じて、上記以外の書類の提出を求める場合があります。

※ 受理した申請書類等の返還は認めません。

※ 外国語で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。



(4) 審査の方法及び審査期間

審査は、提出された申請書類により行います。

なお、審査は原則として下記期日までに行います。

渡日前入学許可（理工学部） 平成29年12月8日（金）  
前期日程 平成30年1月9日（火）

(5) 審査機関

岩手大学入試委員会の審査を経て、岩手大学長が認定します。

(6) 審査基準

① 「(1) 出願資格審査の対象者」の①に該当する者

申請者の当該教育施設の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。その結果、高等学校の教育内容と同等以上と認められ、かつ申請者が必要単位を修得（修得見込み）している場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

② 「(1) 出願資格審査の対象者」の②に該当する者

申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。その結果、学習歴等について高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた場合は、原則として「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として認定します。

(7) 審査結果の通知

審査の結果、出願資格を認められた者については、下記期日までに申請者あてに「岩手大学出願資格認定書」を送付します。

なお、出願資格を認められなかった者については、理由を付して結果を送付します。

渡日前入学許可（理工学部） 平成29年12月15日（金）  
前期日程 平成30年1月15日（月）

(8) 岩手大学入学者選抜試験の受験について

「岩手大学出願資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願の際は、必ず「岩手大学出願資格認定書」の写しを提出してください。

(9) 送付先及び問い合わせ先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 岩手県盛岡市上田三丁目18-8 ☎019-621-6064

### 3 出願手続

#### (1) 出願方法

出願書類等を取りそろえ、郵送又は持参により提出してください。郵送する場合は、封筒の表に、「私費外国人留学生入試出願書類在中」と朱書きしてください。

なお、日本国内から出願する場合は、必ず速達書留で、日本国外から出願する場合は、必ず国際スピード郵便（EMS）で郵送してください。

#### (2) 出願書類等提出先

岩手大学学務部入試課（Admissions Office, Iwate University）

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8（3-18-8 Ueda, Morioka, Iwate, 020-8550 JAPAN）

#### (3) 出願受付期間

渡日前入学許可（理工学部）

平成30年1月4日（木）から1月9日（火）まで【必着】

前期日程

平成30年1月22日（月）から1月31日（水）まで【必着】

持参の場合、受付時間は月曜日から金曜日の10時から16時までです（ただし、祝日を除く）。

出願書類等は、出願受付期間内に届くよう余裕をもって提出してください。

出願受付期間を過ぎて到着したものは受け付けません。

#### (4) 出願書類等

書 類 等	記 入 方 法 等
①入学志願票	<ul style="list-style-type: none"> <li>所定の用紙に志願者本人が日本語で記入してください。</li> </ul>
②写真票・受験票・入学検定料納入確認票	<ul style="list-style-type: none"> <li>太枠線内に、志願者本人が記入してください。</li> <li>出願区分は、いずれか1つを○で囲んでください。</li> <li>写真票には写真（縦4cm×横3cm）を貼ってください。</li> <li>検定料の納入については、18ページの「(5) 検定料の納入方法」に従ってください。</li> <li>検定料は、出願書類受理後はいかなる理由があっても返還しません。</li> </ul> <p>注) 災害救助法適用地域における検定料免除措置については、18ページの「(6) 検定料免除」を確認してください。</p>
③日本留学試験の成績通知書の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用する日本留学試験の成績に係る成績通知書の写しを提出してください。</li> </ul>
④成績証明書又は当該検定等の成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績証明書については出身学校が作成したもの、当該検定等の成績証明書については当該検定実施機関が作成したものを提出してください。なお、<b>必ず原本を提出してください。</b></li> <li>「飛び級」や「繰り上げ卒業」の事実があれば、その証明書も提出してください。</li> <li>出願資格(2)のAで、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は、その成績証明書も併せて提出してください。</li> </ul>
⑤住民票 （国内在住の志願者のみ提出）	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国内に在住している者は、住民票（在留資格が明示されているもの）を提出してください。</li> </ul>
⑥パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書 （国外在住の志願者のみ提出）	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国外に在住している者は、パスポート（旅券）の志願者本人を確認できるページの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のいずれかを提出してください。</li> </ul>
⑦受験票送付用レターパックライト （国内在住の志願者のみ提出）	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国内に在住している者は、郵便局等で販売している「レターパックライト（360円）」を購入し、お届け先欄に日本国内の送付先住所、氏名を記入し、入学志願票などの書類とともに提出してください。</li> <li>※ 郵送により提出する場合は、レターパックライトの封筒を折り曲げて提出してください。</li> </ul>

⑧国際返信切手券 (国外在住の志願者のみ提出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本国外に在住している者は、必要な料金分の国際返信切手券を提出してください。受験票を国際スピード郵便（EMS）で送付する際に使用します。</li> </ul> <b>【国際返信切手券必要枚数】</b>				
	地 域	アジア	北米・中米・オセアニア・中近東	ヨーロッパ	南米・アフリカ
	国際返信切手券必要枚数	11枚	16枚	17枚	19枚
	日本円料金	1,400円	2,000円	2,200円	2,400円
※ 日本の切手を用意する場合は、日本円料金分の額を用意してください。					
⑨出身学校の発行する卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格(2)のアの学校教育における12年の課程を修了（見込み）の者及び出願資格(2)のカの者が提出してください。なお、必ず原本を提出してください。</li> <li>出願資格(2)のアで、我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了（見込み）の者は、その証明書も併せて提出してください。</li> <li>出願資格(2)のカの者については、当該教育施設が評価団体から認定を受けた証明書も併せて提出してください。</li> </ul>				
⑩当該国の検定に合格したことを証明する書類等	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格(2)のアの文部科学大臣の指定した者で、出願するものが提出してください。</li> </ul>				
⑪国際バカロレア事務局から授与された国際バカロレア資格証書の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格(2)のイにより出願する者が提出してください。</li> </ul>				
⑫アビトゥア資格証書の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格(2)のウにより出願する者が提出してください。</li> </ul>				
⑬バカロレア資格証書の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格(2)のエにより出願する者が提出してください。</li> </ul>				
⑭GCE・Aレベル（General Certificate of Education, Advanced Level）試験の成績評価証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格(2)のオにより出願する者が提出してください。科目数は3科目、成績評価はE以上のものに限ります。</li> </ul>				
⑮出願理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>所定の用紙に志願者本人が日本語で記入してください。</li> </ul>				
⑯ラベル票	<ul style="list-style-type: none"> <li>所定の用紙に必要事項を志願者本人が記入してください。</li> <li>合格通知を受け取る所が日本国外の場合、住所、氏名は英語で記入してください。</li> </ul>				
⑰岩手大学出願資格認定書の写し	<ul style="list-style-type: none"> <li>出願資格(2)のキにより出願する者が提出してください。</li> </ul>				
⑱運動歴調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース保健体育サブコースを志願する者は、所定の運動歴調査書を提出してください。</li> </ul> <p>※ 「運動歴調査書用紙」は、本学ホームページ（<a href="http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/index.html">http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/index.html</a>）からダウンロードしてください。</p>				
⑲その他の書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>検定料免除を申請する者は、検定料免除申請書及び必要な書類を添えて提出してください。</li> </ul>				

注) 外国語で記載された証明書には、日本語訳を添付してください。(志願者本人が日本語訳したものでも可)

(5) 検定料の納入方法

ア) 日本国内で振り込む場合

検定料17,000円（別途振込手数料が必要です。）を同封している「払込取扱票」を使用し、必ずゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で払い込んでください。（ATMは利用しないでください。）

払込後、受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を日附印欄の押印を確認の上、「②写真票・受験票・入学検定料納入確認票」の所定の欄に貼ってください。

イ) 日本国外から送金する場合

次の要領に従って、現地の金融機関から検定料17,000円を送金してください。

日本国内外の金融機関で発生する**全ての手数料は依頼人負担になります**。送金手続を行う現地の金融機関に手数料の額を確認し、検定料17,000円が指定口座に到着するように手続してください。

送金後、**外国送金依頼書の写しを出願書類等と一緒に提出してください**。

送金には時間がかかりますので早めに手続を行い、必ず**出願受付期間内に指定口座に到着するように**してください。

送金種類	電信送金 (Telegraphic Transfer)	
支払方法	通知払 (Advise and Pay)	
支払等手数料	依頼人負担 (Payer Account)	
送金金額	¥17,000	
送金目的	検定料 (Application Fee)	
送金する金融機関	銀行名	みずほ銀行 (MIZUHO BANK, LTD.)
	支店名	盛岡支店 (MORIOKA BRANCH)
	銀行住所等	〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通1-5-8 (1-5-8 Nakanohashidori, Morioka, Iwate, 020-0871, JAPAN) tel. +81-19-622-2161
	口座番号	普通預金口座 8046384 (ORDINARY DEPOSIT ACCOUNT NO.8046384)
	口座名義	国立大学法人岩手大学 学長 岩渕 明 (AKIRA IWABUCHI PRESIDENT OF IWATE UNIVERSITY)
	スウィフト・コード (swift code)	MHCBJPJT

注) 送金依頼人は志願者の氏名としてください。

(6) 検定料免除

岩手大学では、災害救助法適用の災害により被災した方が、経済的な理由により大学進学を断念することがないように、検定料について免除措置を行います。申請する方は、出願手続の際と一緒に申請手続を行ってください。

なお、申請手続等の詳細については、岩手大学ホームページ (<http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/index.html>) で確認してください。

(7) 出願書類等提出上の注意

- ① 出願書類等受理後は、いかなる理由があっても志望学部、学科、課程、コース等の変更は認めません。また、出願書類等は返還しません。
- ② 出願書類等に次のような不備があるものは受理しませんので、注意してください。
  - ア 記入漏れ、誤記入のあるもの
  - イ 検定料に不足のあるもの
  - ウ その他、提出すべき必要な書類が添付されていないもの
- ③ 出願書類の記入にあたっては、それぞれの記入要領及び注意書きを参照し、楷書で正しく明確に記入してください。
- ④ 出願書類等の提出後、現住所等に変更があった場合は、速やかに岩手大学学務部入試課へ連絡してください。
- ⑤ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

(8) 受験票の送付

- ① 出願書類を受理した後、受験番号を記載した受験票を送付します。  
送付先は、「志願票」及び「受験票送付用レターパックライト（国内在住の志願者のみ）」に記載された受験票受信場所になります。
- ② 渡日前入学許可（理工学部）の志願者については平成30年1月22日（月）、前期日程の志願者については平成30年2月9日（金）を過ぎても受験票が到着しない場合は、岩手大学学務部入試課（☎019-621-6064）に問い合わせてください。

## Ⅳ 障がい等を有する入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がいあるいは疾病等により受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、下記期日までに、「事前相談について」（所定様式）を提出してください。「事前相談について」（所定様式）は本学ホームページ（[http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/nyushi\\_jyoho/syougai.html](http://www.iwate-u.ac.jp/nyusi/nyushi_jyoho/syougai.html)）からダウンロード、もしくは次ページ掲載の様式をご利用ください。

渡日前入学許可（理工学部） 平成29年12月8日（金）

前期日程 平成30年1月17日（水）

なお、必要により、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行う場合がありますので、できるだけ早めに提出してください。

また、期限後に不慮の事故等により、受験上の特別な配慮が必要となった場合には、速やかに連絡してください。

### 提出先

岩手大学学務部入試課

〒020-8550 盛岡市上田三丁目18-8

年 月 日

岩手大学長 殿

氏 名  
 (志願者との関係 )  
 住 所  
 電 話 - -

## 事前相談について

下記により事前に相談したいので、関係書類を添えて提出します。

### 記

#### 1 志願者氏名等

ふりがな 氏 名	男・女	生年月日	年 月 日生
現住所	〒 -		電話 - -
出身学校名	電話		- -

#### 2 志願学部等名

学部・学科等	学部		学科 課程		コース	
出願区分 (出願区分を○で囲む)	AO I	AO II	推薦 I	推薦 II	私費外国人	前期日程 後期日程

#### 3 障がいの種類・程度

#### 4 受験上特別な配慮を希望する事項・内容

#### 5 修学上特別な配慮を希望する事項・内容

#### 6 出身学校在学中にとられていた特別な配慮

#### 7 日常生活の状況

#### 8 添付書類

- (1) 健康診断書
- (2) その他

注1 出身学校関係者等が記入してください。

注2 6の「出身学校在学中にとられていた特別な配慮」については、詳細に記入してください。

注3 本用紙に書ききれない場合には、適宜別紙に記載しても構いません。

注4 健康診断書等の書類は必ず添付してください(コピー可)。

注5 ※欄は記入しないでください。

※ 大学記入欄

## V 入学者選抜方法等

渡日前入学許可による選抜は、大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査等を免除し、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

前期日程の選抜は、大学入試センター試験を免除し、本学が実施する個別学力検査等（小論文、面接）、日本留学試験及び出願書類を総合して判定します。

### 1 入学者選抜方法

項目	学部				
	人文社会科学部	教育学部	理工学部		農学部
試験区分	前期	前期	渡日前 入学許可	前期	前期
本学で実施する 個別学力検査等	小論文、面接	面接（注1）	課さない	面接	面接
日本 留 学 試 験	日本留学試験 利用科目	文系（日本語・総合 科目・数学） 又は 理系（日本語・理 科・数学）	文系（日本語・総合 科目・数学） 又は 理系（日本語・理 科・数学）（注2）	理系（日本語・理 科・数学）（注3）	理系（日本語・理 科・数学）（注4）
	数学のコース1， コース2の別 （注5）	どちらでもよい	どちらでもよい	コース2	どちらでもよい
	理科の選択する 2科目	3科目から任意の 2科目選択	3科目から任意の 2科目選択	3科目から任意の 2科目選択	3科目から任意の 2科目選択
	日本留学試験の 出題言語	日本語、英語の どちらでもよい	日本語	日本語	日本語、英語の どちらでもよい
	日本留学試験の利用	平成29年6月又は11 月のどちらでもよい	平成29年6月又は11 月のどちらでもよい	平成29年6月又は11 月のどちらでもよい	平成29年6月又は11 月のどちらでもよい

注1）教育学部の学校教育教員養成課程中学校教育コース音楽サブコース及び美術サブコースの志願者については、面接時にそれぞれのサブコースの履修に必要な実技の能力についても検査します。

美術サブコースの志願者は、作品（1年以内に制作した主な作品2点）、又は資料ファイル（これまでに制作した作品についての資料・様式任意）を試験当日持参してください。面接時に作品について説明を求めます。

注2）教育学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計が280点以上、かつ、日本語記述の得点が35点以上であることが必要です。

注3）理工学部志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）の合計が、渡日前入学許可では280点以上、前期日程では260点以上であることが必要です。

注4）農学部共同獣医学科志願者は、日本留学試験の日本語（読解、聴解・聴読解）、数学及び理科の合計が640点以上（そのうち日本語の合計が300点以上）、かつ日本語記述の得点が35点以上であることが必要です。

注5）コース1は、数学を必要とする程度が比較的少ない学部用

コース2は、数学を高度に必要とする学部用

※ 大規模災害等、予期せぬ事態が発生した場合、選抜方法を変更することがあります。

## 2 入試日程等

### (1) 人文社会科学部

8時30分までに人文社会科学部に集合してください。(X 建物配置及び試験場案内図参照)

日程	年月日	課程	個別学力検査等	時間
前期日程	平成30年2月25日(日)	全課程	小論文	9:00~10:30
			面接	当日指示します。

### (2) 教育学部

教育学部に集合してください。(X 建物配置及び試験場案内図参照)

なお、集合時間は受験票送付時に通知します。

日程	年月日	課程	個別学力検査等	時間
前期日程	平成30年2月26日(月)	全課程	面接	別途通知

### (3) 理工学部

13時30分までに理工学部1号館に集合してください。(X 建物配置及び試験場案内図参照)

日程	年月日	学科	個別学力検査等	時間
前期日程	平成30年2月25日(日)	全学科	面接	14:00~
渡日前入学許可		全学科		

### (4) 農学部

15時50分までに農学部集合してください。(X 建物配置及び試験場案内図参照)

日程	年月日	学科	個別学力検査等	時間
前期日程	平成30年2月25日(日)	全学科	面接	16:00~

## 3 受験上の注意

試験当日は、下記によるほか、試験場の監督者の指示に従ってください。

指示事項及び試験室等の案内については、各試験場に試験前日から掲示していますので、事前に確認してください。

- (1) 利用する成績に係る「日本留学試験受験票」及び「本学の受験票」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、これを提示してください。
- (2) 試験場には駐車場がありませんので、公共の交通機関を利用してください。
- (3) 試験場の下見は、2月24日(土)(注:2月26日(月)の教育学部を受験する者は2月25日(日)でも可)としますが、建物の中に入ることはできません。
- (4) 自然災害、悪天候等により、指示された時刻までに試験場に到着できない場合は、受験票に記載してある緊急時の問い合わせ先まで連絡してください。
- (5) 試験開始時刻に遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。  
試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、小論文については試験時間の延長はしません。
- (6) 小論文について
  - ① 受験の際、机の上に置けるものは「日本留学試験受験票」及び「本学の受験票」、黒の鉛筆またはシャープペンシル(黒い芯に限る)、消しゴム、鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類を除く)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く)、メガネ、ティッシュペーパー、目薬です。ティッシュペーパーは、袋から中身を取り出してください。これ以外のものは、かばん等にしまっ、座席の下に置いてください。  
また、腕時計(計時機能だけのもの)の使用は認めますが、腕時計型端末など辞書、電卓、端末等の機能があるものやそれらの機能の有無が判別しづらいものについては、監督者の判断により、試験場本部が試験終了まで預かる場合があります。
  - ② 定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類は使用できません。試験時間中に、これらを使用すると不正行為となります。  
また、試験時間中に使用すると不正行為となる電子機器類は、試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っている不正行為となることがあります。



不正行為については、「4 不正行為」も確認してください。

- ③ 携帯電話、スマートフォン、音楽プレーヤーなどの音の出る機器は、試験開始20分前までに必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。また、時計のアラーム、時報、目覚まし音等の設定についても、試験開始20分前までに必ず解除しておいてください。
- ④ 答案には必ず本学の受験番号を記入し、氏名は記入しないでください。
- ⑤ 試験開始後は試験終了まで退室を認めません。ただし、発病等やむを得ない場合の一時退室は除きます。
- ⑥ 答案提出前に離席してはいけません。受験中の発病等やむを得ない場合には、手を挙げて監督者の指示に従ってください。
- ⑦ 答案は自席で提出してください。

(7) 面接について

試験開始後は、順番が来るまで受験者控室で待機してください。待機中に入退室を希望するときは、係員に申し出て、その指示に従ってください。

## 4 不正行為

(1) 次のことをすると不正行為となります。

不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した岩手大学入学試験のすべての成績を無効とします。

- ① 志願票・写真票・受験票・入学検定料納入確認票、答案へ故意に虚偽の記入をすること。(写真票に本人以外の写真を貼ることや、答案に本人以外の名前・受験番号を記入する等)
- ② カンニングをすること。(カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わること等)
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 試験時間中に、問題冊子を試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、**定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。**
- ⑧ 「解答やめ。鉛筆を置いて問題冊子を閉じてください。」等の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

(2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取り扱いは、(1)と同様です。

- ① 試験時間中に、**携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。**
- ② 試験時間中に、携帯電話や時計等の音(着信・アラーム等)を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

## VI 合格者の発表

合格者には郵便により合格通知書を送付するとともに、合格者の受験番号を次により発表します。

学部	日程	合格発表の日時	方法
理工学部	渡日前入学許可	平成30年2月6日(火)15時	本学ホームページによる発表 <a href="http://www.iwate-u.ac.jp/">http://www.iwate-u.ac.jp/</a>
人文社会科学部	前期日程	平成30年3月6日(火)15時	
教育学部			
理工学部			
農学部			

注1) 合格の問い合わせについては、一切応じません。

注2) 合格電報又は合格電話の受付を行っている者がいますが、これは岩手大学とは一切関係がありませんので、注意してください。

## Ⅶ 入学手続等の概要

入学手続等の概要は次のとおりとし、詳細については、合格者に送付する「入学手続のしおり」で指示します。

### 1 入学手続締切期日及び場所

合格者は、入学関係書類を取りそろえ、持参又は郵送により手続してください。

入学手続締切期日までに入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退した者として取り扱います。

日 程	入学手続締切期日	場所・時間（持参の場合）
渡日前入学許可	平成30年2月14日（水）	岩手大学入学手続会場 10時から16時まで
前 期 日 程	平成30年3月15日（木）	

注）郵送により手続する場合、それぞれの入学手続締切期日16時必着です。

持参により手続する場合、「入学手続のしおり」で手続日を指示します。

### 2 入学関係書類

- (1) 誓約書・保証書（所定の用紙）
- (2) 入学手続確認書
- (3) 学生証用カラー写真（縦4cm×横3cm）1枚
- (4) 入学料納入確認票
- (5) その他所定の書類

### 3 大学納付金

- (1) 入学料 282,000円（予定額）
- (2) 授業料 年額 535,800円（前期分 267,900円，後期分 267,900円）（予定額）

注1）上記納付金は予定額であり、入学時及び在学中に納付金額の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

注2）授業料の納入方法については、「入学手続のしおり」でお知らせします。

なお、入学手続後の入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

### 4 入学料及び授業料の免除等制度

- (1) 入学料の免除

入学前1年以内に、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納入が著しく困難となった場合は、本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上、その半額又は全額を免除することがあります。

- (2) 入学料の徴収猶予

経済的理由によって入学料の納入が納入期限までに困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、入学前1年以内に、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合には、本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上、定められた期限まで徴収を猶予することがあります。

- (3) 授業料の免除

経済的理由によって修学が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合には、本人の願い出（必要書類提出）に基づき選考の上、その全額、半額又は1/4を免除することがあります。

### 5 その他の経費（平成29年4月現在）

- (1) 学生教育研究災害傷害保険（付帯賠償責任保険を含む）

学部4年間 4,080円

※ 農学部共同獣医学科のみ 学部6年間 5,890円

- (2) 後援会、同窓会費等の諸会費（学部によって異なります。）55,000円～80,000円

※ 上記(1)及び(2)は、全員加入を原則としています。

## 6 在留資格手続きについて

日本に入国する前に「査証（ビザ）」を取得する必要があります。合格者の方に手続きについての案内を送付しますので、必要な書類を準備して提出してください。

※ 既に「留学」の在留資格で日本に滞在している方以外は、全員必要な手続きです。

## 7 理工学部の特設プログラム履修生の選抜方法について

先端理工学特別プログラム及び地域創生特別プログラム〈ものづくり系〉では、入学後、履修生を追加募集することがあります。詳細については、<http://www.se.iwate-u.ac.jp/> をご確認ください。

## Ⅷ 個人情報の取り扱い

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「岩手大学個人情報管理規則」に基づいて取り扱います。

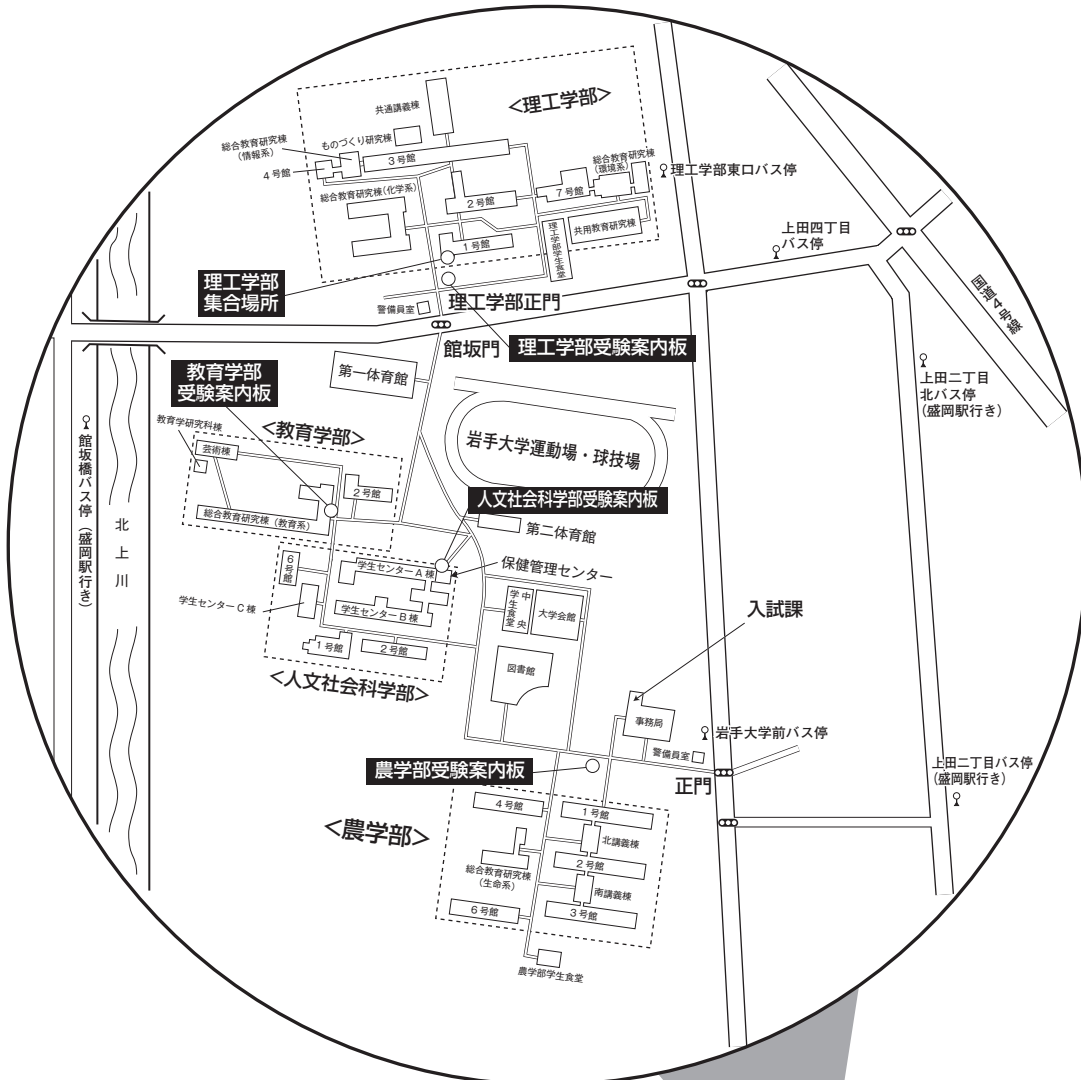
1. 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
3. 上記1及び2の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。  
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
4. 出願に当たって知り得た個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収関係の業務を行うために利用します。

## Ⅸ 入試過去問題活用宣言について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。

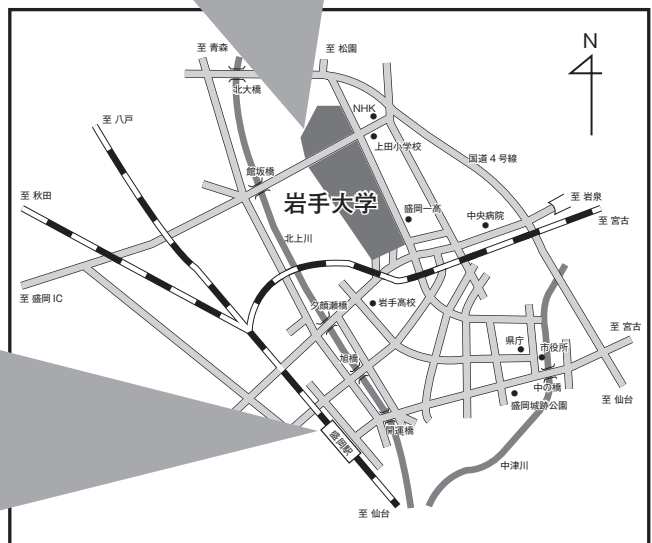
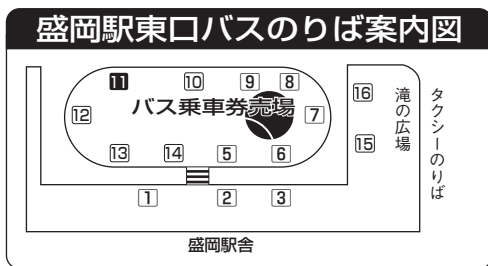
- 1 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧は、次のURLで公表しています。  
<http://www.nyushikakomon.jp>
- 2 入試過去問題は、そのまま使用する場合も一部改変して使用する場合もあります。また、必ず使用するとは限りません。
- 3 過去問題を使用した場合は、全ての入学試験終了後、出典等を公表します。

# X 建物配置及び試験場案内図



学 部	盛岡駅前(バスターミナル11番のりば)からの交通機関
人文社会科学部 教育学部 農 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「岩手大学前」下車</li> <li>岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「岩手大学前」下車</li> </ul>
理 工 学 部	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩手県交通バスの駅上田線の松園バスターミナル行き「上田四丁目」下車</li> <li>岩手県交通バスの駅桜台団地線の桜台団地行き「理工学部東口」下車</li> </ul>

※ 本町・山岸・洞清水経由のバスには乗車しないでください。  
 注1) 盛岡駅から約2km、徒歩約25分です。  
 注2) タクシー利用の場合、盛岡駅「タクシーのりば」から約10分、料金は1,000円程度です。  
 注3) 盛岡駅行き(帰り)のバス停については、上記の案内図を参照してください。





岩手大学への各種問い合わせについては、下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日 9時00分から17時00分まで

※ただし、祝日、全学休業日（12/28～1/3）は除きます。

**★入学試験に関すること**

入学試験に関する問い合わせは、志願者本人が行ってください。

岩手大学学務部入試課 ☎019-621-6064（+81-19-621-6064）

**★留学生，奨学金，学生寮に関すること**

岩手大学学務部国際課 ☎019-621-6076（+81-19-621-6076）

**★入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること**

岩手大学学務部学生支援課 ☎019-621-6506（+81-19-621-6506）

☎019-621-6882（+81-19-621-6882）

**★入学料及び授業料納入に関すること**

岩手大学財務部経理課 ☎019-621-6031（+81-19-621-6031）

岩手大学ホームページアドレス <http://www.iwate-u.ac.jp/>